

着脱にかかる時間を

50% 削減

※当社調べ

“座位姿勢保持ベルト”

もっとカンタンにつけ外しをいたくありませんか？

従来の股通しを無くすことで、装着前の準備が不要。
車いすに乗った状態でパッとつけられる形状なので、
つけ外しにかかる時間を短縮できます。



カンタン3ステップの装着



1 車いすに乗った状態で、
前から被せます



2 腰バックルを留め、横ベ
ルトを調整します



3 背面バックルを留め、縦
ベルトを調整します

※必ず取扱説明書をお読みの上、ご使用ください。

日本医療科学大学の先生方 ご協力のもと、開発しました。

本製品は日本医療科学大学保険医療学部
リハビリテーション学科作業療法学専攻
の教員の皆さまの意見に基づき、試作品
の緻密な改善を重ね、より快適な商品
を開発することができました。



“このベルトは「車椅子上での座る姿勢を安楽に保持できることを支援する」をコンセプトに、対象者さんにきちんと車椅子に座っていただいたうえで、骨盤をベルトで保持することで、会陰部を通るベルトを無くしても姿勢の保持を支持できるようにしています。これは、骨盤の突起部をベルトで支持することで、臀部の前方向へのずれと合わせて、骨盤の後傾、いわゆる猫背のような座り方を予防するような構造にしているからです。このため、この骨盤の突起を通る横ベルトを車椅子の後ろで調整して留めることが重要になります。また、前胸部をすっきりと肩ベルトだけにすることで、締め付けられるような感覚を緩和でき、車や飛行機のシートベルトのようなイメージの装着感となっています。ただし、車椅子での座位は、「固定する」ものではありません。少しの緩みがないと、かえって、座る姿勢の居心地が悪く、姿勢を悪くしてしまう原因になります。このベルトを装着しても長時間、同じ姿勢で車椅子に座っているのではなく、適度に、少しずつ姿勢を変えることが大切です。

このベルトを活用することで、
対象者さんが安全に車椅子乗車ができること、
介助者のみなさんが安心して介助できることを応援します”

(日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻准教授 荻山泰地)



体験者の声

従来品よりも
かなり早く着けられた！

一般利用者/男性

座った状態で
カンタンに装着できる

病院勤務/女性

股関節外旋位に
なりにくそう

リハビリテーション職/男性

見た目も
シンプルで良い！

病院勤務/女性

軽くてコンパクト！

病院勤務/女性

洗える仕様が嬉しい

リハビリテーション職/女性

403670 座位姿勢保持ベルト



取扱説明動画

- 品 質：ポリエステル 100%
- サイズ：00
平置き（横）64～144cm
平置き（縦）98～126cm
- カラー：グレー
耐荷重：95kg まで

35年前に日本初の車いす用姿勢保持ベルトを開発



フットマーク株式会社 健康快互事業部
〒130-0021 東京都墨田区緑 2-7-12